

桑高硬式野球部が甲子園へ？

西 羽 晃

平成 29(2017)年 11 月 9 日の朝日新聞三重版を見て驚いた。来春の全国選抜高校野球大会に 21 世紀枠として桑名高が三重県から推薦された。私が同窓会長の時に甲子園へ出たらと空想していたのだが、単なる妄想に終わってしまったのに。会長を辞めた途端に甲子園出場の可能性が出てきた。

桑高は秋の県大会でベスト 16 だったので、実力は低いけど、毎日新聞の記事では、「進学校として学業と野球部の活動を両立させているほか、試合ができない狭いグラウンドにもかかわらず、実力をつけてきたことなどが評価された」。レフトの後ろでは軟式野球部、センターとライトの後ろでは陸上競技部やサッカー部が練習していて、事故が起きないかと、いつもハラハラしている。

桑高野球部は前身の桑名中時代から夏の大会の県予選には毎年出場しているが、これまでは準決勝戦までが最高で、決勝戦まで進んだことはなく、野球の名門校とは言えない。だが、1949(昭和 24)年の秋には県大会で宇治山田高校を 3 - 2 で破り、優勝した。東海大会では 1 回戦で岐阜の長良高校と対戦して敗退した。この年には野球グラウンドも整備された。バクネットは今と違って校庭の東北隅だった。



49 年優勝の記念写真

50 年の春も宇治山田高に 3 - 2 で勝って優勝した。秋・春連続で優勝したのだから、50 年の夏には優勝の最有力候補と期待された。準決勝で四日市商高と対戦した。1 対 1 のまま 9 回裏の四商の攻撃を 2 死まで抑えたが、2 連続安打され、次に死球を与えて満塁となってしまった。さらに死球を与えてしまい、サヨナラ負け。

50年秋には宇治山田高を6 - 2で破り、優勝した。この時の成績が評価され、翌年の51年春の選抜には甲子園の候補となった。その当時に捕手として活躍した酒井敏明（1952年卒、全日制4回生）さんから晩年に聞いた話では「校旗と校歌」を準備しておくようにと指示があったそうだ。しかし甲子園行は幻で終わった。51年春も県大会で津高を4 - 0で破り、優勝した。夏も優勝候補とされたが、またまた準決勝戦で宇治山田商高に1 - 12と大敗してしまった。

なお、酒井敏明さん（1934 - 2007）は桑高から早稲田大学に進み、東京六大学で活躍し、その後は中日ドラゴンズに入団した。桑高卒業生では唯一のプロ野球選手である。ドラゴンズを退団後は東京中日（東京中日スポーツ）新聞の記者となり、晩年まで野球記事を担当した。

何はともあれ、現段階では第一関門である三重県推薦を通っただけであり、12月15日に東海4県から1校に絞られ、来年1月26日に全国で3校に絞られて正式に決定される。ともかく朗報が待ち遠しい。